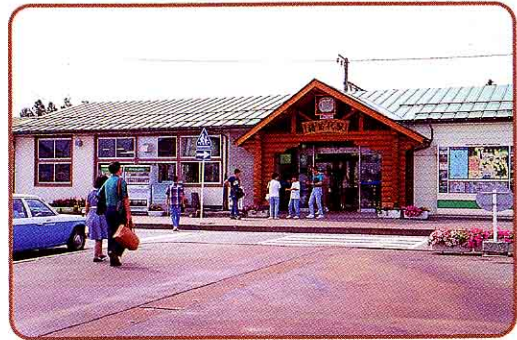
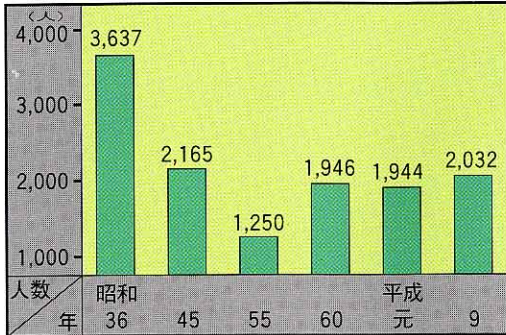


1日に乗りおりする人数 (猪苗代駅)



今のJR猪苗代駅 (平成3年)

猪苗代湖の湖上交通 猪苗代湖を船で行き来することは、今から700年以上も昔から行われてきました。とくに、陸上交通が不便だった山潟や壺下の人たちにとって、船は大切な乗り物でした。

猪苗代には、山潟港など5つの港があり、明治22年ごろからたいへんなにぎわいでしたが、1899年(明治32年)の鉄道開通によって、そのすがたはしだいに消えていきました。

猪苗代湖にあった港 (明治5年)



道路やバス 猪苗代町には、まわりの町や村を結ぶいくつかの峠道があります。会津から中通りに出る中山峠道、福島や松川に通じる土湯峠道などです。それらは道はばもせまく、けわしいものでした。また、たいへんきけんなところもありました。雪のつもる季節には、行き来ができなくてこまることもありました。今のよう交通が発達していない時代は、歩くか馬を使うしか方法はありませんでした。